

SWEST12 アンケート集計結果 回答数 60名(配布数 137)

1. SWEST 全体についてのご感想

1.1 何で SWEST の開催をお知りになりましたか？

- | | |
|---------------|-------------|
| a. メーリングリスト | 11 |
| b. 実行委員から直接 | 14 |
| c. 上司、同僚からの紹介 | 27 (後藤さん 1) |
| e. その他 | 8 |

その他の内訳

ホームページ、TEF、教授の紹介、ホームページ2、SSES、CQの方より

1.2 SWEST の参加目的をお教えてください (複数回答可)

- | | |
|-----------------|----|
| a. 人(産学、産産)との交流 | 37 |
| b. 自己啓発 | 30 |
| c. 議論等の情報交換 | 22 |
| d. 情報収集 | 28 |
| e. 成果発表 | 11 |
| f. その他 | |

1.3 SWESTに参加していかがでしたか

- | | |
|-----------|----|
| a. 満足 | 26 |
| b. まあまあ満足 | 26 |
| c. ふつう | 7 |
| d. 今一つ | 0 |
| e. 不満足 | 1 |

1.4 SWEST の日程の長さはいかがでしたか。

- | | |
|-------|----|
| a. 適当 | 56 |
| b. 短い | 2 |
| c. 長い | 2 |

1.5 今回8月開催となりましたが、SWEST の開催時期はいかがでしたか。

- | | |
|-------------|----|
| a. 適当 | 40 |
| b. 7月中旬～下旬頃 | 2 |
| c. 8月上旬 | 1 |
| d. 8月下旬 | 10 |
| e. その他 | 5 |
| ・ 9月上旬 | 2 |

1.6 SWEST の参加費はいかがでしたか。

- | | |
|-------|----|
| a. 適当 | 50 |
| b. 高い | 8 |
| c. 安い | 2 |

意見

20000円くらい 12000円、15000円

1.7 SWEST会場および地域はいかがでしたか。

- | | |
|-----------|----|
| a. 満足 | 14 |
| b. まあまあ満足 | 21 |
| c. ふつう | 13 |
| d. 今一つ | 11 |
| e. 不満足 | 1 |

意見

・浜松、関東、長島温泉、蒲郡、のぞみの到着駅

1.8 役に立ったコンテンツは何ですか（複数回答可）

- | | |
|-------------|----|
| a. 講演 | 35 |
| b. ポスタセッション | 19 |
| c. 分科会 | 19 |
| d. チュートリアル | 6 |
| e. ワーク | 14 |
| f. その他 | 8 |
- c. d. eのテーマ、タイトル
エンジニアの理想的コミュニケーション、モチベーションワークショップ 2
ぐるぐるマインドマップ、モデル駆動型開発 3、DSM、ETロボコン
ワークショップ形式による開発プロセスの振り返り

1.9 SWEST参加費の負担はどなたでしょうか？

- | | |
|-----------|----|
| a. 所属組織負担 | 49 |
| b. 自己負担 | 11 |

1.10 今回DAシンポジウムと完全共同開催でしたがいかがでしたか？

- | | |
|-----------|----|
| a. 満足 | 10 |
| b. まあまあ満足 | 17 |
| c. ふつう | 30 |
| d. 今一つ | 3 |
| e. 不満足 | |

意見・DAS系の催しに興味の持てるものがなかった。

2. ポジションペーパーについて

2.1 ポジションペーパーは役に立ちましたか？

- | | |
|--------|----|
| a. はい | 35 |
| b. いいえ | 22 |
| c. その他 | 3 |

2.2 ポジションペーパーの活用方法についての意見

- ・意欲のある人は自分で印刷して持参し懇親会などで活用すると良い
- ・ポジションペーパーを通して交流できた
- ・参加者の思いが把握できる
- ・読んでいないのでわからない
- ・読む時間が無い、ポジションペーパーがきっかけで話が始まるわけではない
- ・SWESTを通じて交流した方を後で振り返るのに使いたい。その意味では多くの参加者のポジションペーパーを集積したい。

3. ポスタセッションについて

3.1 議論を重視したポスタ発表といたしましたが、いかがでしょうか？

- | | |
|-----------|----|
| a. 満足 | 4 |
| b. まあまあ満足 | 41 |
| c. ふつう | 13 |
| d. 今一つ | 2 |
| e. 不満足 | 0 |

意見・議論を重視したというようなデモは見られなかった

- ・混雑するので全部聞けなくて残念
- ・時間が長く発表者はつらいです。2部制に分けてはどうでしょう。
- ・DAの分野に疎いため、理解できない話が多かった

3.2 DAシンポジウムと合同のポスタセッションといたしましたが、いかがでしょうか？

- | | |
|-----------|----|
| a. 満足 | 3 |
| b. まあまあ満足 | 24 |
| c. ふつう | 32 |
| d. 今一つ | 1 |
| e. 不満足 | 0 |

セッション名	a	b	c	d	e
SWEST/DAS共同基調講演 「XDDP：派生開発専用の開発アプローチ」	22	17	5	2	
S1-a「実践HAZOP実習」	1	1			
S1-b「ぐるぐるマインドマップ」	2	2			
S1-c「モデル駆動型開発」	6	9	4	1	
S1-d「若手研究者によるお悩み相談室」	6	6	3	1	
S1-e「ワークショップ形式による開発プロセスの振り返り4」	1			1	
S1-f「DA技術の変遷と今後」		2	1	1	
S2-a「テスト・検証」	1	2	2	2	1
S2-b「ARTOP最新動向」		1			
S2-c「入門SPL（ソフトウェアプロダクトライン）」	5	11	5		
S2-d「パフォーマンスを高め、スマートな開発をするためのモチベーションワークショップ」	12	10			
S3-a「システムレベル設計と実装」		3	1		1
S3-b「Domain-specific Modeling for Full Code Generation」	2	3		1	
S3-c「実践SPL（ソフトウェアプロダクトライン）」	6	6	5		
S3-d「エンジニアの理想的コミュニケーションスタイル」	9	7	5		
S4-a「システム検証の現実と理想と将来」		4	9		
S4-b「実戦形式手法 Event-B」			2	1	
S4-c「組込みソフトウェアの機能安全」	6	11	5	4	
S4-d「Androidアプリケーションワーク」		1			
S5-a「ADLシステム設計最新動向」	5	5	3		
S5-b「AUTOSAR車載ソフト開発」	2	6	1	1	
S5-c「ETロボコンから考える組込みエンジニアリング」	13	3	3	1	
S5-d「Andriod」アプリワークショップ	1	1			

SWEST/DAS共同基調講演 「XDDP：派生開発専用の開発アプローチ」

aの理由

- ・清水さんの話が聞けたから座談会のようなものに発展し、懇親会後に色々な話が聞けて貴重な体験ができた
- ・書籍を見て興味があったが講演でますます興味がでてきた。実際に行くと効果が出そうな気がした
- ・清水先生の本を読んでいて、直接生の声が聞きたいと思っていましたので、その夢がかなっただけで満足です
- ・わかりやすい。新しい視点が得られた
- ・とても参考になった 2
- ・非常に有益でした。刺激を受けました
- ・XDDPというアプローチを知ることができて良かった
- ・ただし、共感できないこともありました
- ・派生開発の問題と解決方法について実践できていて納得できた
- ・時間が短い
- ・初めてXDDPを知ったがとても興味深い内容だった
- ・VSDM、XDDPの本は読んでいたが清水さんの熱い語り感動した

bの理由

- ・言いたいことはよくわかりました。ただ、難しい事をさらっとやってのけている感があり、本

当にできるの?という気持ちです.

- ・私の仕事のほとんどが派生開発なのでとても参考になりました

cの理由

- ・大分かたよった開発レベルの組織への対応に感じた
- ・利用することによる効果は感じられたが、利用するまでのハードルが高く感じた
- ・講演のスピードが速いため、おおまかなイメージでしか理解できなかった
- ・興味深く思いましたが学生という身分であります故「なるほど」で終わってしまいました
今後開発者等関わるのでしたら足がかりとできたらと思いました

dの理由

- ・この短期間では難しい内容だと思いました
- ・スライドがほとんど見えません

S1-b 「ぐるぐるマインドマップ」

bの理由

- ・楽しかったです. マインドマップの新たな可能性を知りました. 実践したいと思います

S1-c 「モデル駆動型開発」

aの理由

- ・既にダウンロードしたツールであったが、使い方が今一わからなかったので、実際に実演してもらって理解できた

bの理由

- ・私の開発チームで取り組み始めている話題であったので興味を持ってきけました
- ・分りやすかった. しかしアルコールで眠かった
- ・モデル駆動開発等の話は聞いて良かったと思いました. 初心者へ何をしたらよいのかも教えてもらったのは大きかったと思います.

cの理由

- ・Visual Studio2010を使用した説明であり、ツール紹介のようになっていた. MSのツールではなく一般的なツール (eclipseなど) を用いて欲しかった
- ・実際に使用するにはVisual Studioの上の方のものが必要でコストバジェットに導入できないなら
- ・無料ライセンスがもらったのは嬉しかったが、途中からMSの宣伝みたいでした

S1-d 「若手研究者によるお悩み相談室」

aの理由

- ・様々な意見が聞いて良かった
- ・学と産の交流、学生と社会人との交流ができる良い場だったと思う

bの理由

- ・ちょっと発表者以外の声が大きかった
- ・産側からの意見が活発に出ている印象でした

cの理由

- ・私の経験が足りないことを感じました.
- ・進め方は難しい. トピックはもう少し絞ったり若い人たちの間でもう少し議論があっても良かった

S1-e 「ワークショップ形式による開発プロセスの振り返り4」

aの理由

- ・ピタゴラス的な物を作り、それをtextのみで仕様化という大きな制約を嫌というほど体験できた
文章化にも構造化が必要で対象に応じた適切な表現であるということが理解できた.

dの理由

- ・昨年と同じ

S1-f 「DA技術の変遷と今後」

cの理由

- ・今までの興味あるテーマとは少し違ったが技術者さんたちの生の声が聞いて良かったです

dの理由

- ・知識が無かったため

S2-a 「テスト・検証」

eの理由

- ・ DASさんの発表を一部分だけ見た、といった感じで話の流れの中に入れなかった

S2-c 「入門 SPL」

aの理由

- ・ SPL の考え方がわかりました
- ・ 実践SPLと続けて聞く事でわかりやすかった

bの理由

- ・ 学生なのでこういった技術に関しての知識は少し難しく感じられた（SPL実践編も）
- ・ SPLについて改めて思いおこすことができました（S3-cの直前に開催したほうがよい）
- ・ SPLの基本を知ることができて良かった
- ・ ソフトウェアプロダクトラインという名前は何度か耳にしていたが大まかな内容も知っていると知っていたのですが、思った以上に無知であったようです。 どのようなものなのかしっかりと知ることができて良かった。
- ・ 分りやすく説明してくれてよかった

S2-d 「パフォーマンスを高め、スマートな開発をするためのモチベーションワークショップ」

aの理由

- ・ 自分のことを振り返るよい機会となり、自分のできることをやるべきことの中から一つやりたくないこともやろうと思いました。
- ・ 楽しかったから。 プライベートな話が聞けておもしろかった、モチベーションを上げることができそうに思えたから
- ・ モチベーションの定義の説明がわかりやすかった。 いままで深く考えていなかったのがよかった。 ワークのモチベーション分析も有意義でした
- ・ 非常によい内容でした
- ・ とても分りやすく面白かった
- ・ 人間系テーマはさらに重要な課題でテーマとしては面白かった
- ・ 自分の力の見直しだったり社会人の方の実際のところの話が聞けて非常に面白かった
- ・ チームでモチベーション分析を実践したい

bの理由

- ・ モチベーションというある意味最も大切なものについて向き合う事ができた。 ワークもよかったが 時間が不足気味だったのでbとした
- ・ 自己を振り返る手法が身に付いた

S3-a 「システムレベル設計と実装」

cの理由

- ・ 興味深い内容だったが自分の知識不足で理解することができなかった

eの理由

- ・ 全くわからなかった

S3-b 「Domain-specific Modeling for Full Code Generation」

aの理由

- ・ 地に足のついた話でとてもよかった

bの理由

- ・ 英語はしんどいです
- ・ DSMIについて知れて良かった

S3-c 「実践SPL」

bの理由

- ・ SPL 導入の手順が具体的で分りやすかった
- ・ 実践に関しても理解を深めるにはよいと思いました
- ・ 分りやすかった

S3-d 「エンジニアの理想的コミュニケーションスタイル」

aの理由

- ・ コミュニケーションの話が聞けたから、グループワークが面白かった
- ・ グループワークがあり、楽しかったです。P. A. G. の考え方は知りませんでした。為になりました
- ・ コミュニケーションの考え方についてとても勉強になった。
- ・ コミュニケーション理論として、TAを説明していただき参考になった。ワークショップでもグループ内での気づきあってよかった

bの理由

- ・ ちょっと時間が足りなかった
- ・ ワーク形式がよかったです
- ・ ワークの時間をもう少し長くすべきだった、反省

cの理由

- ・ コミュニケーションを工学的に捉える考え方が新鮮でした。ただ、ワークの時間が圧倒的に不足していたのでcとした。
- ・ 自分にはコミュニケーション能力が不足していると考えており、今後の自分の行動に何らかの影響を受けた気がする
- ・ 時間の不足があり中々すっきりとワークできなかった

S4-a 「システム検証の現実と理想と将来」

bの理由

- ・ いろんな人のことを1度に聞けるとおもしろいです

cの理由

- ・ 昼食後だったのでよく聴講できなかった
- ・ パネラーの方々から参考になる意見が聞けて良かったです

S4-b 「実践形式手法 Event-B」

cの理由

- ・ ついていけなかった

S4-c 「組込みソフトウェアの機能安全」

aの理由

- ・ パネルディスカッションの内容が上手くまとまっていて、解りやすくなっていたと思う
- ・ 最近の動向と未来の予測を知ることができた

bの理由

- ・ 機能安全の考え方がわかったのでよかったです
- ・ 自分自身の知識不足により少々理解不足
- ・ パネルディスカッションが良かった

cの理由

- ・ 実際にソフトウェアの開発運用をするときにまた話を聞きたいと思います

dの理由

- ・ プロセス等従来の差として、どんなアクティビティを変更したのか等、具体例が聞きたかった
- ・ チュートリアルがよくわからない、浅い

S4-d 「Androidアプリワークショップ」

bの理由

- ・ 内容は良いが、時間がなかった

S5-a 「ADLシステム設計最新動向」

aの理由

- ・ モデリング言語の話、さらに最新の事情も聞けて勉強になりました

bの理由

- ・ ADLの動向が見えづらい中、助かる話でした
- ・ 知らないキーワードがたくさんできて勉強になった

cの理由

- ・かじた程度のレベルの事前知識では足りませんでした
- ・参考になりました

S5-b 「AUTOSAR車載ソフト開発」

bの理由

- ・AUTOSARの概要、おさらいから始まりとても分り易かったです
- ・語句説明をいれてくれたのがとてもよかった。車載関連の仕事ではないがAUTOSARが何かなんとなくイメージを持つことができた
- ・説明が分りやすかったです
- ・専門的な用語が多かったがデモがあり楽しかったです

S5-c 「ETロボコンから考える組込みエンジニアリング」

aの理由

- ・ETロボコンの解説後ワークにおいてOCDの検討を通じて貴重な体験ができた
- ・いろいろな方の意見が聞けて良かった
- ・学生さんからみた（考える）開発プロセスが聞けたことがよかった
- ・自分が考えていなかった意見が興味深く参加できて良かった
- ・OCDの様々な意見が出たりと、面白かった

eの理由

- ・進め方が硬直的で参加者の立場に立っていない

cの理由

- ・ワークやることを事前に知らせて欲しかった

S5-d 「Androidアプリワークショップ」

aの理由

- ・Androidに興味があった。PCを使ってその場でソフトを作成することが楽しかったから。A2を知ることができたから

4. 2次回以降参加したいセッションテーマがありましたら、お聞かせください

人間系, SPL, 形式手法, DSM, MDD, XDDPの導入, DK技術, コミュニケーション関係（コミュニケーションエラーの防止法等）, 「実践形式手法 Event-B」っぽいもの 2, ぐるぐるマインドマップ（参加できなかったから）, クラウドコンピューティング, 入門形式手法,

5. その他

5.1あなたの職種についてお聞かせください。

a. 経営者	0
b. 管理者	2
c. 大学教育関係者	5
d. 開発プロジェクトリーダー	2
e. システム設計	2
f. ハードウェア設計・開発	1
g. LSI設計・開発	0
h. ソフトウェア設計・開発	2 6
i. 生産管理	0
j. 商品企画	1
k. 研究職	3
l. 学生	1 6
m. その他	1

5.2企業から参加された方へ。あなたの担当分野についてお聞かせください。

a. パソコン・周辺機器	3
b. AV機器	2

c. 娯楽・教育機器	2
d. 個人用情報端末機器	0
e. 家電機器	2
f. OA機器	1
g. 通信用情報端末機器	4
h. 設備機器	2
i. 自動車・運輸機器	5
j. FA機器	3
k. 医療機器	0
l. 基本ソフトウェア	6
m. 開発ツール関連	3
n. その他	4

その他の内訳

通信ソフトウェア、何でも

5.3 あなたの年齢についてお聞かせください。

a. 20～24	12
b. 25～29	14
c. 30～34	9
d. 35～39	6
e. 40～44	6
f. 45～49	6
g. 50～54	1
h. 55～59	2
i. 60以上	1

その他 19歳

5.4 あなたの組込みシステムの経験年数についてお聞かせください。

a. 2年未満	20
b. 2～5年	13
c. 5～10年	13
d. 10～15年	4
e. 15～20年	2
f. 20～25年	2
g. 25～30年	3
h. 30～35年	1
i. 40年以上	0

意見・提案

- ・ 次回は温泉を希望します 同意見 4
- ・ ロケーションは良い
- ・ 部屋は個室が良い
- ・ 学生向けのセッションがもう少し参加する学生にはいいかもしれない
- ・ 初参加だったが「ゆるく、濃い時間」を過ごすことができよかった
- ・ セッションの分野はもう少しバラエティがあってもよかったかも
- ・ 夕食がもう少し多い方がよい
- ・ 興味があって飛びこませていただいたのですが、ここまで専門的なものだとは思っておらず講義の内容はさっぱりわからない、SSEST参加者以外に顔見知りがない等自分にはかなり厳しいものになってしまいました。主旨が違うのかもしれませんがもう少し入門的な講義を設けて学生の参加を募ればもっと活発な会になるのではないのでしょうか？